

表情や体を使って伝えよう

< 小学校低中学年 >

目的 言葉以外でも伝えることができることを知る。
コミュニケーションは相手のことをよく知りたいという思いから始まることに気づく。

気づく

言葉を使わずにグループを作ろう

言葉を使わずに、グループづくりすることの難しさを知る。
言葉を使わずに自分の思いを伝える方法を考える。

お互いに言葉を使わずに、背中に貼った色シール別にグループ作りをする。
4～5色の色シールを用意する。
ストップウォッチで一定時間内に行う。

深める計画する

言葉を使わず、相手に伝える方法を発表しよう

言葉の通じない人と出会った時や言葉でうまく表現できない時の表現方法を経験の中から考える。
相手の表情からどんなことがわかるか考える。

耳の聞こえない人と会話するときにはどんな方法があるか。
外国の人との会話はどんな方法があるか。

実践する

無言劇をやってみよう

グループで、言葉を使わず絵本の内容や家でのできごとを簡単な劇にする。
劇を見て思ったことや発見したことを書く。

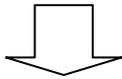
これまでの生活経験や知っていることから考えられる範囲で出しあう。

振り返る

グループで分かったことを発表しよう。

言葉を使わない場合と言葉を使った場合の伝え方を比べてみる。
コミュニケーションを取るうえで一番大切なことは何か考える。

目や顔の表情、手振りや身振りで自己表出する。
相手の表情から気持ちを読み取る。

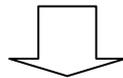


実践する

いろいろな人とコミュニケーションをとってみよう

障害のある人とのコミュニケーションを考える。
日本語をしゃべることができない外国の人とのコミュニケーションの方法を考える。

コミュニケーションをとる上で大切なことや気づいたことを出しあう。
相手の立場にたってコミュニケーションをとることの大切さを理解させる。



振り返る

新たに気づいたことを話し合おう

【学習を進めるにあたって】

- ・中高学年に向けてさらに学習を深めることも必要である。言葉をしゃべることができない障害者とのコミュニケーションを考える。
- ・コミュニケーションとは、発信することと受信することから成り立っていることに気づかせたい。

